

第1回住用町内学校の在り方検討委員会 概要

日 時	令和7年7月4日（金）14時～16時
場 所	奄美市 住用公民館2階ホール
出 席 者	<p>○住用町内学校の在り方検討委員会委員12名（3名欠席：原田，岩浅，西）</p> <p>○事務局9名</p> <p>（教育長，教育部長，住用事務所長，教育総務課長，学校教育課長，学校教育課長補佐，学校教育課指導主事，住用地域教育課長，住用地域教育課係長，住用地域教育課主事）</p>
会 議 内 容	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付 代表交付</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>4 自己紹介，事務局紹介</p> <p>5 委員長・副委員長選出 事務局案として，委員長に原田委員，副委員長に森田委員を選出 ただし，委員長が欠席による不在であるが，本人承諾済み伝える</p> <p>6 委員長挨拶 委員長不在のため，副委員長挨拶</p> <p>7 諮問 教育長より諮問書の読み上げ</p> <p>8 議事（事務局説明）</p> <p>(1) 検討委員会設置の経緯と目的</p> <p>(2) 住用町の人口推移等</p> <p>(3) 住用町内各学校の児童生徒数推移</p> <p>(4) 住用町内小・中学校の状況等について</p> <p>(5) 統合再編のメリット・デメリット</p> <p>(6) 「住用町内学校の在り方検討委員会」スケジュール（案）</p> <p>〈委員意見〉</p> <p>委員A</p> <p>学校統廃合となれば，小学校，中学校同時に進めていくのか。よく中学校は発達状態からみても統合という流れがあり，小学校は地域の学校</p>

という意識が地域住民からは強いように感じる。隣の龍郷町では、地域住民の意見が後から寄せられていたが最終的には行政判断であったように思う。小中学校同時に結論を出すのか。それとも別々に考えるのか。

事務局

保護者アンケートをみても、本アンケートは設問でも、「現状のままでいい」か「統合を検討した方がいい」というアンケート内容となっており、その中で高い確率で大部分の保護者が統合に賛成の結果がある。このような結果が出てる中で、小学校、中学校をわけて議論する方が果たして望ましいのかと思う。

委員A

保護者アンケートの説明はあったが、住民アンケートは実施しないのか。地域住民の総意という点では実施しないのは私は疑問に思う。

事務局

スケジュール（案）でも説明したが、今後、学校や地域住民対象に説明会を予定している。パブリックコメントも計画している中で、あえて住民アンケートの実施は考えていない。住民説明会で意見があれば、意見をまとめ、委員皆様へもお示しし議論したい。

委員B

各学校施設の状況の説明の中で、市としてはR造の建物については、耐用年数70年とし35年で大規模改修するとあるが、住用中学校の校舎築年数をみると47年経過しているが大規模改修は実施されているのか。

12年前に大規模改修は実施済か。

また、住用町の将来推計人口を見ると、R32年人口予測が530人となっている。この表では0歳児から54歳まで0人と表記されているようにみえるが。

事務局

平成30年度の改修中とあるが、空調関係で大規模改修は実施されていないと思います。人口推計の数値については、再度分析しお示しした

い。

委員C

地域協議会でも学校再編問題は議論されました。住用町は人口減少が激しい。児童生徒数も昔と比べるとかなり減ってきている。行政と地域が一体となって空き家対策等の問題にも取り組んでほしい。

委員D

第2回検討委員会で学校現地視察が予定されているが、すでに委員の皆さん学校施設の状況をご存知かと思う。それより先に意見交換に時間を設け、現地視察は後に計画した方がいいのでは。

委員E

統廃合との判断に至った場合、行政は学校制度をどのようにお考えか。義務教育学校かそれとも小中併設校か、あるいは、小学校、中学校別々の統廃合か。見通しはどのようにたてられているのか。いつ決めるのか。

事務局

今後の検討委員会において、住用の子ども達が最適な環境の中で学校生活を送れるのが一番ではないか。そのために我々行政は様々な面で支援していきたい。そのためにはどのような制度がふさわしいのか、子どもファーストで考えていきたい。学校視察を早い段階で計画したのも、どの制度を導入するかの意味でも早い段階で議論したかったためです。

委員F

もし統合した場合、学校から「お子さんの具合が悪いのでお迎えにきてください。」といった場合、自宅から学校が遠い保護者は、なかなかすぐに迎えにいけない。こういった問題もあるので、もしこういった場合は、このような対応をします等のプランがあれば助かります。

事務局

まずは、学校再編について、統合するべきか否かを第2回検討委員会ではお聞きし制度そのものの協議にも入りたい。その中であらゆる方面

での、メリット・デメリットをお示しし判断いただく。対応策についても同時にお話ししていきたい。

委員G

我々に統廃合への可否や質問をする場合に、受け取り方で委員によっては違ってきますので十分慎重に取り計らいいただきたい。

事務局

先ほどからアンケートの設問や、制度のお話が出ておりますが、今回欠席の原田委員長は県内自治体の学校再編問題には監修ということで詳しく取り組まれている。原田委員長にもご意見お聞きしながら進めていきたい。先ほどの保護者の送迎のお話しもありましたが、対応策としてはスクールバスを運用するとかありますが、こういったお話しも地域からの要請があり行政は議会承認や予算化の準備をすることができる。

それから、もう1点、将来推計人口の話の中でR32年には、シンクタンク機関の調査で270人予測のところ住用町では530人に留めますという資料があったと思います。奄美市でも総合戦略の中で「子育て世代を133人増やしましょう」という目標がある。行政としてもあらゆる施策を講じて最大限努力します。ぜひこの機会、PTAの方からもご意見をお聞きしたい。

委員H (PTA)

保護者間でも統合したい、統合できたらいいという話はよくします。児童生徒数がこんなにも少なくなったのでスピーディーに統廃合を進めてほしいという意見はよく聞きます。一番は子どもたちが楽しく学校生活を送れるのがいいことです。アンケートは子どもたちにも実施してほしい。

委員I (PTA)

子どもたちのことを思うと統合には大賛成です。

委員J (PTA)

私も統合に賛成です。子ども達も少人数のため、大人数の中で慣れて

いてほしい。私の方にも、生徒数が少なくなって今更、検討するというのは遅いのではという声が寄せられました。

委員K（PTA）

地域の中でも統合した方がいいという話がありました。ただし、地域の方からは学校の名前は無くしてほしくないという意見がある。

委員L

第2回目以降の検討委員会で統廃合の結論がでると思うが、統廃合となった場合のスケジュールもお示しいただければと思います。学校の場所や教育課程の問題、校名や校歌等。教職員の問題でも人事異動の関係もでてくる。学校で決めていかなければいけない事も多くあるので。

事務局

第2回検討委員会の結論後に判断したいと思いますよろしくお願いしますか。

9 その他

次回日程の確認。第2回検討委員会は8月29日（金）14時、住用総合支所 3階会議室です。ご出席宜しくお願いします。

10 閉会